【肺がん地域連携パス】

肺癌地域連携パスについて、次のように運用させていただきますので、ご協力よろしく
お願いいたします。

1. 対象患者

肺癌地域連携パスの対象患者さんは、原則として次の要件を満たした方です。

- ① 県立広島病院で手術を施行（初回）
- ② 非小細胞肺癌 I A 期の症例

2. パス導入時の連絡

患者さんに地域連携パス導入の同意が得られれば、担当医またはパス担当者より連
携医療機関の先生へ電話にて連携の依頼をさせていただきます。

3. 県立広島病院への定期受診など

- ① 退院後は呼吸器内科による診療となります。原則、退院後 3 ヶ月間は毎月、術後
の定期診察を行います。その後、2 年目までは 6 ヶ月ごと、3 年目以降は 1 年ごと
に胸腹部 CT・頭部 MRI、PET または骨シンチなどの検査を行い、転移再発の診
断を行います。

※ ただし他の疾病などによってはスケジュールが変わることがあります。

4. 連携医療機関の先生にお願いする診療

- ① 診療の間隔や内容については、肺癌地域連携パスをご参考にしていただき、血液
検査や胸部 X-p 及び呼吸器症状などの観察をお願いします。

また、原則的に以下の項目についても連携医療機関の先生をお願いします。

- ② 薬剤の投与・変更・追加（投薬内容の変更をお願いすることがあります。）
- ③ 高血圧症・脂質異常など他の合併症に関する管理

※ 採血データなどの診療情報を当院へ送付いただきますようお願いいたします。その際、貴
院においては、月 1 回を限度として『がん治療連携指導料 300 点』を算定することができ
ます。（パス導入時にがん治療連携計画策定料を算定したものに限り。）

5. パスの期間

術後 5 年間です。5 年経過後は地域連携パスを終了とし、基本検診、職場検診や人間
ドックを有効利用することとします。

6. バリエーション

- ① 肺がんの再発や転移により連携困難と判断された時
- ② 他病の病状悪化により連携困難と判断された時
- ③ 患者事情による県立広島病院もしくは連携医療機関への定期受診困難時
- ④ 死亡